

第4B (小) 分科会 —組織・運営に関する課題—

提案主題 「『芯の通った学校組織』の定着」のための教頭の役割
～教務主任等ミドルリーダーの育成と運営委員会の活性化をめざして～

司会者	宇佐市立津房小学校教頭	岩 男 紀美子
提言者	宇佐市立院内北部小学校教頭	東 浩 志
助言者	中津市立緑ヶ丘中学校校長	古 口 宣 久
記録者	宇佐市立南院内小学校教頭	阿辺山 初 美

1 協議の柱

- ・学校組織活性化のための教頭の役割はどうあればよいか

2 協議の実際

(1) 提言者に対する質問と応答

- ・「分掌部会・学年部会の設定について」。第1・2週は研修，第3週は運営委員会と分掌部会，第4週は職員会議。各部会は定例化していない。
- ・「小規模校で分掌担当も重複。運営委員会の時間と要員の確保について」。運営委員会の見直しをし，月一回としたうえで見直しをたてて取り組んでいる。

(2) グループ討議

- ・学校組織活性化のためにツールを利用する。教務主任と教頭で分担している週案・運営委員会の見直し案作成・自己申告シートへの関わりなど。教務主任とコミュニケーションを十分とり，教頭の仕事を整理して教務主任に仕事を移行することや，責任を与えて任せる姿勢を大切にすること及び組織のラインをしっかりと作ることで学校組織の活性化を図る。
- ・学校の状況と危機意識を共有する場や，めざす児童生徒像にむかって改善策をたて実践していく場を意図的に仕組むことと，そこに教務主任等の活躍の場をつくるのが教頭の役目である。

3 指導助言

- ・教務主任に自信を持たせる取り組みができています。教頭と教務主任との人間関係づくりから新しい提案をうみだし，運営委員会の見直し等活躍の場を与えています。
- ・運営委員会と職員会議の兼ね合いの中で，時間短縮等の工夫や全体を考慮しての発言のルール等職員が身につけることができるので，実践を重ねることが大切である。
- ・分掌部会・教科学年部会での協議を大切にし，その会議において，月・学期を見通した計画や取り組みがでなされるように，教頭として調整することが必要である。
- ・教頭と教務主任の仕事の分担等バランスは難しいが，教務主任を育てるためには，仕事を任せて待つ「我慢」も必要である。
- ・教頭が教務主任に仕事を任せられるようになると，授業観察や分掌主任との面談などを積極的に行うことができ，これまで以上に学校運営を担うことが期待できる。